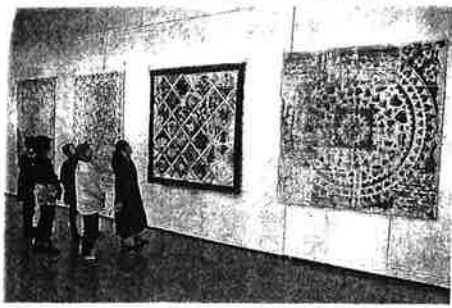


もう2度と戦争はしない ——これが憲法の原点です!

富山 「パッチワークキルト展」が20日、富山市民プラザで始まり、色を

布で草花表現

パッチワークキルト展



りどりの布で草花などを表現した約50点を展示している。写真。22日まで。北日本新聞社後援。

作品展は、高岡市片原町のパッチワークキルト教室「キルト工房志布」とあすを拓くことやま文化協会（湊谷道夫理

事長）が企画。志布のオーナー、中村登志子さんと中村さんに学んだ4人が出品した。会場には桜やチューリップ、ひな人形といった春らしい題材や、竹馬や馬跳びなどで遊ぶ子どもをあしらった作品などが並ぶ。米国の地図を題材にした縦133.5センチ、横245センチの大作も目を引く。



山崎拓元副総裁

山崎拓元副総裁は時事通信のインタビューに答え、安倍晋三首相が進める集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を具体化する安保法制整備について

「安倍首相が、米軍主導の有志連合への自衛隊による後方支援は行わないと言っていることについて、「安全保障法制の整備では、非戦闘地域でなくても後方支援できるような法律を改める」と強調し、

自衛隊が米軍の傭兵に

安保法制整備 山崎元副総裁が懸念

戦地での支援の枠組みを整備するものと指摘。米国などが中東で戦争状態に入り、武力行使の「新3要件」をみたくと強弁すれば、集団的自衛権の行使が可能になり「自衛隊がペルシャ湾の機雷を除去しに行く根拠になる」と述べました。

そうした状況のもと「米国は日本に対し『有志連合に入っ

緒に戦ってくれ。少なくとも後方支援をやってくれ」と求めてくる」と強調。過激組織ISとの有力な交戦国となるとして「私が一番心配しているのは、日本の自衛隊が米国の『傭兵（ようへい）』になってしまうことだ。積極的平和主義の美名のもとに中東紛争に介

入するのは日本の利益にならないし、必要がない。イスラム国のテロリストのターゲットになるだけだ」と指摘しました。



- ・24日(火) 志賀原発原告団会議 17:00 (金沢北尾弁士事務所)
 - ・3月7日(土) PM2時 さよなら原発集会・デモ 富山国際会議場2F 講師 中嶋哲演 (福井小浜 明通寺住持)
- 原発銀座福井で40数年反原発運動 中嶋さんの想い